

まちの話題



11/17

絵本と音楽で 異世代間交流

異世代間交流や地域活動の新しい形を模索するオープンイベントが社会福祉法人更葉園の敷地内施設「おとぶけ通り。」で行われました。帯广大谷短期大学と協力し、絵本の読み聞かせにサクソやキーボードの演奏を合わせたり、学生がDA PUMPの「U.S.A.」を踊る場面では子どもも参加。地域交流の拠点として「おとぶけ通り。」で活動したい人は音更町社会福祉協議会(☎42-2400)までお問い合わせください。



11/29

プロの技は すごい!

ふれあい交流館でパティシエに学ぶデコレーションケーキづくりが行われました。講師にDREAM DOLCEのパティシエ高橋拓さんらを招き、音更産の小麦粉を使ってスポンジ生地を焼き、よつ葉の生クリームでデコレーションしました。重ねたスポンジ生地に生クリームを塗る作業では、先生のなめらかなお手本とは裏腹に皆さん大苦戦。先生たちに手伝ってもらいながらきれいにデコレーションできました。



11/21

好き嫌いなく食べて 選手のように強くなろう



11月20～22日、ファイターズの「応援大使ご当地給食」が町内の小・中学校で提供されました。この日のメニューは大田泰示選手が好きだったエビフライカレーと和梨ゼリー。小野町長や宮原教育長らが音更小学校を訪れ、6年生と談笑しながら楽しい給食の時間を過ごしました。

11/9

新しいサッカー場に緑を



トヨタ自動車と帯広トヨペットから町にライラック20本、シモツケ70本の苗木と植え込み土壌改良剤一式、災害備蓄水600リットルが寄贈されました。サッカー場「キックロスおとふけ」で贈呈式の後、帯広トヨペットの若林社長、小野町長ら8人が4本の苗木の記念植樹を行いました。

11/15

手の込んだ作品がずらり



木野新町ひまわり会(老人クラブ)の作品展が木野コミセンで行われました。洋裁や写真、彫塑などのほか、自分で育てた野菜など、自分で作ったものはなんでも出展できます。会長の能手さんは「これをきっかけにつながりを密にして、みんなの輪を広げていきたい」と語ってくれました。

12/11

59万3,795編の中から 全国一に



中学生の「税についての作文」で全国一の内閣総理大臣賞を受賞した宇野天那さんと、音更町賞を受賞した川村桃音さん、田中琴美さんの表彰式が下音更中学校で行われました。宇野さんは「取れると思っていなかったから驚いた。みんなが自分のことのように喜んでくれてうれしかった」と話してくれました。

左から：北濱帯広税務署長、宇野さん、川村さん、田中さん、杉本校長